

2015 年度 事業報告

(2015.4 ~ 2016.3)

- ◆ 研修事業 P-2
- ◆ ネパール大地震被災者支援 P-8
- ◆ 啓発事業 P-10
- ◆ 助成及び賞歴 2015 年度決算 P-13

理事長挨拶

理事長 水野雄二



いつも PHD 協会に多大なご支援を賜り感謝申し上げます。ここに 2015 年度事業報告をお届けいたします。皆様のお支えにより、2015 年度もミャンマー、ネパール、インドネシアからの研修生を迎え、実りある一年を過ごすことができました。また、多くの皆様との交流の場を通して、私たちの生き方を問う機会を持つことができ感謝いたします。

さて、2015 年 4 月にネパール大地震が発生し、元研修生の村や家々が甚大な被害を受けました。PHD 協会は「アジアの人づくり」をミッションとする団体ですが、緊急に救援活動を開始し、彼らと共に尽力することができました。この救援活動のために多くの支援金を頂戴し、重ねて感謝申し上げます。この救援活動は 2016 年も継続されます。PHD 協会の今後の働きに更なるご支援をよろしくお願い申し上げます。



ネパール大地震救援活動を実施。被災者支援を行いました。

事務局報告

主任主事 坂西卓郎

2015 年度は怒涛の一年となりました。

年度初めの 4 月 25 日に PHD の原点でもあるネパールで M7.8 という大地震が発生し、死者 8,000 名以上、家屋や学校の倒壊も 50 万棟を超すという未曾有の被害が発生しました。研修生の地域も大きな被害を受け、PHD としても支援活動を実施することになりました。多くの個人、団体の方がご支援下さいましたが、中でも生活協同組合コープこうべより大口のご支援をいただきました。ご寄附の総額は約 2,500 万円になり、緊急救援活動として食料の配布、250 世帯の仮設住宅建設支援等を実施することができました。

他にも「外務省 NGO 相談員・大学生国際協力エッセイコンテスト」、「急がば回れ！インドネシアから短期研修生を招へいしてゴミのポイ捨てゼロ作戦」、「PHD インドネシア立ち上げ」、「大阪女学院大学と協働でのミャンマーツアー実施」など多くのプログラムをボランティアの皆様と実施することができました。皆様のご支援に感謝申し上げます。



大阪女学院と協働でミャンマーツアーを実施。大好評でした。

研 修

（1）第33期研修生

ネパールからはタクレ村の幼稚園の先生カンチ・マヤ・タマンさんが来日し、保育研修を中心に受けました。またタクレ村は無医村で最寄りのクリニックまで徒歩1時間かかるので、保健衛生と応急手当研修にも重点を置きました。

インドネシアのカユジャングイ村からは4児の父であるシャフルルさんが来日。田畑をほとんど持たないため、出稼ぎに頼る生活を強いられました。家族と一緒に村で暮らすことを目指し、少ない土地で日銭を得ることができる養鶏の研修に励みました。

ミャンマーのタダインシェ村からは米農家の長女であるサンティダエーさんが来日。研修テーマは有機農業や保健衛生、保育など多岐に渡りました。来日後には塩や油を多く使わない日本食に興味を示し、出汁についてなど、栄養に関しても勉強しました。

カンチ・マヤ・タマンさん

（ネパール・28歳・女性）

推薦団体：SAGUN

研修テーマ：保健衛生、保育、
協同組合、住民組織化

4-5月 兵庫県

西宮市／木村道子さん（滞在）
豊岡市／寺田まさふみさん（米・野菜・加工品）
6月 西宮市／はらっぱ保育所（保育）

7月 愛知県

名古屋市／たかくら幼稚園（保育）
名古屋市／しょうぶ苑（介護）
豊明市／名古屋石田学園星城中学校（応急手当）

兵庫県

神戸市中央区／杉の子保育園（保育）
高砂市／ステップハウス（ハンディキャップガイド）

8月 篠山市／円谷豊子さん（料理・有機農業）

9月 養父市／太陽保育園（保育・栄養）

西宮市／はらっぱ保育所（保育）

10月 島根県

隠岐郡西ノ島町／シオンの園（保健・保育）
松江市／松江市保健福祉総合センター（保健衛生）

11月 兵庫県

養父市／太陽保育園（栄養）

12月 三木市／三木市総合保健福祉センター（保健衛生・栄養）



応急手当の実習

シャフルル（ゾン）さん

（インドネシア・37歳・男性）

推薦団体：PHD 研修生グループ

研修テーマ：有機農業、協同組合、
住民組織化

4-5月 兵庫県

神戸市垂水区／葛原時寛さん・香織さん（滞在）
丹波市春日町／中野宗嗣さん（牛・有機農業）
6月 神戸市西区／渋谷富喜男さん（野菜・肥料・有機農業）

7月 養父市／上垣敏明さん（養鶏・野菜・有機農業）

篠山市／円谷利行さん（淡水魚・有機農業）

篠山市／酒井良典さん（淡水魚の養殖）

8月 神埼郡市川町／牛尾武博さん（養鶏・野菜・有機農業）

佐用郡佐用町／真柴三幸さん（たい肥・飼料・有機農業）

9月 豊岡市／寺田まさふみさん（野菜・炭素循環農法）

丹波市／橋本慎司さん（養鶏・野菜・有機農業）

10月 愛媛県

松山市／泉精一さん（養鶏・土着微生物）

滋賀県

11月 草津市／草津ホンモロコ生産組合（淡水魚）

12月 兵庫県

高砂市／ステップハウス（ハンディキャップガイド）

養父市／上垣敏明さん（養鶏・有機農業）



土着微生物を活かした肥料を学ぶ

サンティダエーさん

（ミャンマー・21歳・女性）

推薦団体：PHD 研修生グループ

研修テーマ：保健衛生、有機農業、
協同組合

4-5月 兵庫県

神戸市垂水区／榊克育さん、かおりさん（滞在）

5月 豊岡市／寺田まさふみさん（米・野菜・加工品）

6月 豊岡市／寺田まさふみさん（米・野菜・加工品）

7月 愛知県

名古屋市／たかくら幼稚園（保育）

名古屋市／しょうぶ苑（介護）

名古屋市／相山女学園大学附属小学校（教育・応急手当）

兵庫県

神戸市須磨区／のぞみ保育園（保育）

佐用郡佐用町／真柴三幸さん（野菜・たい肥・飼料・

有機農業）

8月 篠山市／円谷豊子さん（料理・有機農業）

9月 養父市／太陽保育園（保育・栄養）

高砂市／ステップハウス（ハンディキャップガイド）

10月 丹波市／橋本慎司さん（野菜・有機農業）

篠山市／丹南健康福祉センター（保健衛生）

11月 加東市／加東市保健センター（保健衛生）

12月 三木市／三木市総合保健福祉センター（保健衛生）



ハンディキャップケアを通じて社会のあり方を考える

◆ 共通研修 ◆

4-5月 兵庫県

神戸市中央区／神戸 YMCA 学院専門学校（日本語）

神戸市中央区／PHD 協会・日本語ボランティア（日本語）

神戸市東灘区・三木市・神戸市中央区／生活協同組合

11月 コープこうべ 全3回（協同組合）

神戸市西区／なでしこ歯科 全2回（口腔衛生）

大阪府

12月 大阪市西成区／旅路の里（釜ヶ崎の歴史や現状）

兵庫県

神戸市／人と防災未来センター（防災）

明石市／兵庫県立大学地域ケア開発研究所（防災）

神戸市／食品公害を追放し安全な食べ物を求める会
（消費者組合）

1月 篠山市／酒井裕行さん（種の選別）

2月 洲本市／淡路島モンキーセンター（残留農薬の弊害）

神戸市中央区／PHD 協会（住民組織化研修）

神戸市／こうべ環境未来館（ゴミ減量資源化）

3月 インドネシア／比較研修旅行



餌付けされた猿を通じて残留農薬を考える

◆ 東日本研修旅行 ◆（11月12日～20日）

愛知県／アユス東海・想念寺、星城中学校

山梨県／山梨英和中学校 YWCA クラブ、山梨 YMCA グループ

東京都／ロータリー米山記念奨学会、全日本自動車産業労働組合総

連合会、アユス仏教国際ネットワーク・勝楽寺、日本労

働組合総連合会、外務省民間援助支援室、共立女子大学

神奈川県／地球の木、山崎・谷戸の会、こどもの広場もみの木クラブ

岐阜県／日本キリスト教団中濃教会

<敬称略>



実際に粃を手にとってみる 農業研修

◆ 西日本研修旅行 ◆ （1月9日～21日）

鹿児島県／かごしま有機生産組合、だるま保育園、蔵島小学校、蔵島自治公民館
熊本県／水俣病センター相思社、ガイア水俣、エコネットみなまた、ほっとはうす、熊本 YMCA、菊池恵楓園
福岡県／祝町小学校、旭ヶ丘会館、アジアを考える会北九州、到津の森公園
山口県／梅光学院大学・高等学校、岩国みなみワイズメンズクラブ
広島県／平和学習、共生庵、みらさか小学校、灰塚コミュニティセンター
岡山県／赤磐市中央公民館

<敬称略>

◆ 兵庫県内研修報告会 ◆

豊岡市／但馬 PHD 指導者会
加東市／加東市連合婦人会
西脇市／研修指導者会

<敬称略>



兵庫県内研修報告会 加東市連合婦人会

◆ アクションプラン ◆

個別研修、共通研修を終えた後、33 期生たちは帰国後の村でのアクションプラン（活動計画）を考えました。次の図は研修生たちが作成した出身村の課題分析と活動目的との因果関係を視覚化したものです。

タクレ村の問題系図



カンチさんの 活動計画

「楽しい幼稚園づくり」

カンチさんにとっての村の課題は自身が働く「幼稚園が楽しくない」こと。これは日本の保育園や幼稚園が図工や音楽などを取り入れているのに対して、タクレ村の幼稚園は主に読み書きなどの勉強が中心であるため。カンチさんとしては日本のように音楽や図工を取り入れ、子どもたちが楽しく学べるようにしたいが、タクレ村の幼稚園には教材教具がほとんどありません。カンチさんは日本の保育園が牛乳パックやペットボトルなどを使って子どもたちが図工するのを見学し、タクレ村でもあるモノを活用して子どもたちが楽しく学べる方法を同じ地域の幼稚園の先生たちに紹介したいと考えています。

タダインシェ村の問題系図



サンティダエーさんの 活動計画

「小さな図書館の建設」

サンティダさんは来日前から村の子どもたちに勉強を教えるボランティアを行い、そこで子どもたちが本に親しみがないことを危惧していました。彼女自身は幼稚園に通っていた頃、当時先生であった PHD 研修生ムームーさんが絵本の読み聞かせをしてくれていたことを今でも覚えています。幼い頃から本に触れる大切さをムームーさんから受け継いだサンティダさんは、村に帰ってから小さな家庭図書館を作り、本を読む楽しさを次の世代に広げることを目指します。

◆ 海外比較研修旅行 ◆ (3月9日～17日)

一年間の研修の総まとめとして、インドネシア、ソロ郡タランバブンゴにて、帰国してから地域活動に取り組んでいる研修生たちの活動を学びました。

PHD インドネシアが実施している祝福の牛プロジェクト、洋裁工房の活動に触れ、帰国後の活動について語り合う場を持ちました。また短期研修生としてエッセイコンテスト最優秀賞受賞者中川結理さんにも参加してもらいました。



現地で歓待を受ける研修生

(2) 短期研修生及びゲスト

アイニスマルさん
(インドネシア・42歳・女性
2016年9月30日～10月18日)



「日本の学校にはゴミが落ちていないと聞いた。その現状を学び、自分の学校でも実践したい」と語った二ニスさんの想いがきっかけで短期研修生として招へいをしました。二ニスさんはMIS タベというイスラム系小学校の校長先生です。元研修生たちと協力して学校を立ち上げ、2015年に初の村出身、かつ女性として学校長に就任しました。

日本では約3週間の研修で、農家、高校、小学校、保育園、釜ヶ崎、ごみ処分場と研修先は多岐に渡りました。また10月17日には報告会を実施し、約30名の前で研修の学びや気づきを報告してくれました。

上記招へいには(特活)関西NGO協議会主催の関西地域NGO助成プログラムの支援を受け、「急がば回れ、インドネシアから短期研修生を招へいしてゴミのポイ捨てゼロ大作戦!」として実施しました。

＜アイニスマルさん 研修・交流先＞

- 京都府
福知山市／福知山淑徳高校(教育)
- 兵庫県
豊岡市／寺田まさふみ(野菜・加工品)
神戸市／港島クリーンセンター(環境)
神戸市／神戸市資源リサイクルセンター(環境)
神戸市／布施畑資源センター(環境)
- 大阪府
大阪市／西成区釜ヶ崎地区(貧困)
羽曳野市／羽曳野市立西浦小学校(教育)



神戸市資源リサイクルセンターでの研修

ランマヤ・タマンさん
(ネパール・23歳・女性
2016年2月8日～3月9日)



2012年度の研修生であったランマヤさんは村に戻った後、専門学校に通い助産師の資格を取得。2015年4月の大地震発生後は被災地で医療従事者として活動していました。実地研修(OJT)を行い、同年8月にライセンスを取得後は、復興支援活動でPHDと協力する現地NGO「SSS」で助産師兼看護師として、被災した人々の健康を守り続けています。

2016年2月には短期研修生として再来日してもらい、PHD復興支援報告会にて大地震後の地域の様子を報告してもらいました。その後は助産師として更なる向上のため、助産院と大学病院にて助産研修を受けてもらいました。

＜ランマヤさん 研修・交流先＞

- 兵庫県
神戸市／コープこうべ主催
「ネパール緊急募金寄贈団体の活動報告会」
PHD協会主催「ネパール救援活動報告会」
- 養父市／県立但馬農業高校(交流会)
- 西宮市／兵庫医科大学病院(助産・看護)
- 福岡県
遠賀郡／しづや助産院(助産)



ランマヤさんのしづや助産院での研修

◆ 2015年度 ゲスト ◆

カマル・フィヤルさん
(ネパール・SAGUN 事務局長)



SAGUNAはPHD研修生の出身地域で活動するNGO。カマル氏はその事務局長を務めています。SAGUNは2015年4月発生したネパール大地震の被災地域の状況把握を行い、被災者支援を行っています。2015年12月には、ネパール大地震被災者を支援する神戸の有志に、現地の状況を報告するために来日しました。



ネパール大地震報告会 写真中央左側がカマル氏

(3) 選考・フォローアップ・調査

訪問した4ヶ国において、帰国研修生のフォローアップを行いました。インドネシアではPHDインドネシアが発足し、洋裁工房、牛銀行を開始しました。またミャンマーでは現地スタッフを2名採用しました。

34期生の選考は、ネパール、インドネシア、ミャンマーで実施しました。

訪問国	日程
ネパール	2015年5月15日～5月19日
ミャンマー	5月20日～5月25日
ネパール	6月17日～6月24日
ネパール	7月20日～7月31日
ミャンマー	8月21日～8月30日
インドネシア	9月9日～9月17日
ネパール	9月13日～9月30日
インドネシア	12月6日～12月10日
ネパール	12月15日～12月24日
タイ	12月15日～12月24日
インドネシア	2016年2月16日～2月21日
インドネシア	3月9日～3月17日
ミャンマー	3月27日～4月3日

◆ 34期研修生の選考と結果 ◆

ネパール・カブレパランチョーク郡

応募者の出身村と人数	ラジャバス村：女性3名、男性3名	
選考結果		スリジャナ・シャハ・タクリさん (19歳・女性)

インドネシア・西スマトラ州

応募者の出身村と人数	タラタジャラン村：女性4名、男性3名	
選考結果		リンダ・エルニタさん (22歳・女性)

ミャンマー・マンダレー管区

応募者の出身村と人数	タダインシェ村：女性3名、男性1名	
選考結果		ティダチョーさん (23歳・女性)

◆牛銀行「祝福の牛 (Sapi Berkah)」始動◆

貧困者層への収入向上プロジェクト「祝福の牛」が始動しました。PHDインドネシアと協力し、経済的に困難な人たちを選定して各1頭、計10頭を貸与しました。

ネパール大地震被災者支援

2015年4月25日、M7.8の大地震が発生。続く、5月12日M7.3の余震が発生、被害が拡大しました。PHDの研修生たちの居住地域も甚大な被害を受けたため、PHD協会として救援活動を実施することを決断、2015年度を通して被災者支援を実施しました。



地震で倒壊した家屋

◆ 緊急支援活動 ◆

緊急支援活動実施推移	
4月25日	ネパールでM7.8の大地震が発生
4月29日	神戸・元町での第1回募金活動 約43万円
4月30日	現地NGO「SSS」に43万円を送金 →テント、水、薬、食料などを被災者に配布
5月1日	現地NGO「SAGUN」に42万円を送金 →トタン、油、塩、薬、食料などを被災者に配布 ガハテ農業協同組合に30万円を送金 →現地銀行の混乱により送金できず返金された
5月2日	神戸・元町での第2回募金活動 約5.5万円
5月6日	神戸・元町での第3回募金活動 約17万円
5月12日	M7.3の余震が発生
5月15日 ～19日	坂西、被災地ガハテ村入り（15日～18日） →現地との協議の上、約140万円分のトタン、米、見舞金などを村人に配布
5月23日	神戸・元町での第4回募金活動 約3.4万円



神戸・元町での募金活動の様様

◆ 復興支援活動 ◆

マンガルタール地域

1. 仮設住宅建設支援

急場をしのぐための建設支援として、仮設約250世帯に15,000Rp(約18,000円)を支援。2014年度の研修生ムク・マヤ・タマンさんが約973世帯を訪問し聞き取り調査を実施、また地域の委員会とも議論を重ね、最も困窮している220世帯を選出。基準は「1年間の内、6ヵ月以上は自給できない且つ現金収入も得ることができない世帯」という定義で、次に該当する世帯を優先することとしました。

1. 一人親の世帯
2. 障がい者がいる世帯
3. 70歳以上の高齢者がいる世帯
4. 妊婦が居る世帯
5. 1歳以下の子どもがいる世帯

仮設住宅建設支援した世帯数		
村	総世帯数	仮設建設支援を行った世帯
Chhap	18	
Thakle	39	21
Thakle	53	20
Bazars Lakpal	69	20
Bohore	134	39
Purano Gau	86	37
Pinthali	373	83
Rajabas	201	
合計	973	220

成 果

- 仮設住宅建設支援の全ての過程 - 対象世帯の選定、優先順位の内容、実施 - において、全ての関係者 - 地域の市民団体、政党、地方行政など - から高い評価を受けました。特筆すべきは被災者を含む全ての関係者間で問題が発生しなかったことです。
- 被災者、特に貧困世帯は、仮設住宅建設の支援を受けることで健康への影響に直結する雨や暑さから救われました。



避難テントでの聞き取りによる調査

2. 希望を紡ぐ大工と石工のトレーニング

耐震構造を踏まえたモデル設計住宅を建設するため大工を6人、石工を7人にトレーニングを実施しました。政府の恒久住宅建設支援策とリンクした支援であり、今後の増加するであろう建設需要の高まりに対応していくことが可能になります。また人件費が地域に残るのも利点です。

トレーニングした大工と石工の氏名		
村名	職種	氏名
Thakle	大工	Bishnu Kumar Tamang
Thakle	大工	Chyangba Tamang
Bazars Lakpal	大工	Ujwal Tamang
Purano Gau	大工	Surendra BK
Pinthali	大工	Karma Dondup Tamang
Pinthali	大工	Dolakha Tamang
Bohore	石工	Nil Kumar Adhikari
Bohore	石工	Indra Bahadur Adhikari
Purano Gau	石工	Saila Tamang
Purano Gau	石工	Bakhat man Tamang
Purano Gau	石工	Dhana Bahadur Tamang
Rajabas	石工	Hira Bahadur Thada
Pinthali	石工	Chhoisan Tamang
合計		大工6人 石工7人

成 果

- 研修生は一人も脱落することなく全員が修了し、必要な技能、知識を備えることができました。
- 研修終了後、ほぼ全ての修了者は何らかの雇用を得ることができました。結果、現地での住宅建設促進、被災者の収入向上が実現できました。

3. 学校再建プロジェクト

ネパール政府発表によると12,000以上の教室が全壊しており、子ども達は学校に行けない、もしくは青空教室での授業を余儀なくされていました。そこで同地域での学校再建のための調査を実施しました。

成 果

- ほぼ全ての調査と学校委員会及び、地域住民との協議を終え、2016年度に再建に着手できることとなりました。



地震によって学校の看板が外れてしまっている

ガハテ村及び周辺

4. 命の水を届けよう、簡易水道プロジェクト

2011年度研修生パッサン・ラマさんから「湧水が少なくなっているから、ガハテの人は飲む水の困っている」という連絡を受け、村で唯一水が湧いている水源から簡易水道を建設し、各世帯に水を引いてくる事業を実施しました。SSS及び湯村の人たちの労力奉仕によって完成しました。

成 果

- 約90世帯が簡易水道を利用できるようになりました。



ガハテ村にて簡易水道のタンクを設置

5. 元研修生助産師ランマヤがんばれ！プロジェクト

帰国後、助産師となった2012年度研修生ランマヤ・タマンさんを震災対応の助産師として増員し、被災地でお産や震災に関連する怪我、疾病に従事してもらいました。

成 果

- ランマヤさんは被災地において助産師として一年間地域のクリニックで従事しました。そのクリニックではこの一年間で出産142件、出産関連の検診治療を961人、避妊等家族計画を1,068人、病気や怪我は1,203人の対応を行いました。



血圧検査をするランマヤさん

◆ 広報活動 ◆

PHD の活動について幅広く情報発信し、媒体ごとに質の向上をはかりました。手に取って読んでもらえる印刷物を目指し、会報をカラー化しました。また、様々な媒体を通して、特にネパール大震災被災者支援の情報発信を行いました。

会報・パンフレット等
PHD LETTER (129, 130, 131 号)、研修生・活動紹介チラシ、事業報告
新聞
神戸新聞 (5 月 9 日、6 月 19 日、7 月、2 月 14 日)
朝日新聞 (4 月 30 日、6 月 29 日、7 月 24 日)
両丹日日新聞 (10 月 2 日)
他団体会報等
淡路市国際交流協会会報 vol. 10、兵庫教区被災者支援長田センターニュース 27 号、きょうどう 第 1063 号、コープこうべ「Piu」3 月号
他団体 HP・メールニュース等
国際協カマガジン、スタディツアerpasポート、神戸国際協力交流センター、JANIC、JICA Partner、ひょうごボランティアプラザ、市民国際プラザ、関西 NGO 協議会、アーユス仏教国際協力ネットワーク、関西国際交流団体協議会、名古屋 NGO センター、福岡 NGO ネットワーク、えひめグローバルネットワーク、IDJ 国際協力ジャーナル、日本財団 Canpan、NGO ネットワークジャパン、ボランティアプラットフォーム
ラジオ
FM ムーブ「上原ようこのやさしさラジオ」

◆ 講演・交流会 ◆

今年度も各地での講演・交流会には、研修生と一緒に
出向き、約 2,900 名が PHD の講演・交流会に参加しました。そのうち約 753 名の方々と交流会などを通して、PHD 研修生に直接ご紹介することができました。

＜講演・交流先＞
愛知県／櫻誓願寺
三重県／名張市立桔梗が丘東小学校
奈良県／インターアクトクラブ奈良
京都府／福知山淑徳高等学校、宇治市立西小倉中学校
大阪府／阪神シニアカレッジ、大阪女学院大学、ガールスカウト大阪府連盟、アーユス関西、大阪 YMCA 国際専門学校、羽曳野市立西浦小学校、ワンワールドフェスティバル、羽衣学園高等学校
兵庫県／神戸学院大学、ユニセフ、神戸市シルバーカレッジ、阪神シニアカレッジ、親和女子大学、聖和短期大学、ワイズメンズ神戸ポートクラブ、加東市連合婦人会、全国農業教育研究集会、第 12 回多文化共生のための国際理解教育開発教育セミナー、加古川平成ロータリークラブ、コープ岡本 レインボースクール、川西ロータリークラブ、加古川ロータリークラブ、関西学院大学、篠山ロータリークラブ、県立国際高校、明石城西高等学校、三木市国際交流協会、県立鳴尾高等学校、国際ソロプチミスト神戸、高砂市立阿弥陀小学校、神戸女子大学、レインボースクール コープ新多間店、はらっぱ保育所、のぞみ保育園、関西学院高等部、篠山ナマステ、生田神社、北淡中学校、多賀小学校、阿万小学校、県立但馬農業高等学校、アジアを考える会北九州、国際ソロプチミスト姫路西、ミャンマー関西、明石ロータリークラブ
＜敬称略＞

講演・交流会等の参加者数	
研修生来日報告会	47
研修生帰国報告会	54
交流会	753
東日本研修旅行交流会	136
西日本研修旅行交流会	553
講義・講演	1357
合計	2900



研修生と職員による講演

◆ スタディツアー ◆

帰国した研修生の村を訪ね、村の生活を体験し、研修生の活動から学ぶことで、国際協力や開発のありかたや日本での生活について考える旅を実施しました。大地震発生のため、ネパール訪問は中止となりましたが、ミャンマー及びタイへのスタディツアーは実施されました。



孤児院訪問 (ミャンマースタディーツアー)

訪問国	期間	参加・同行者数
ミャンマー	2015/8/21 ～ 8/30	10
タイ	2015/12/23 ～ 2016/1/2	13

◆ 学生の受け入れ ◆

国際協力や NGO に対する理解を深めてもらうため、大阪経済大学の学生 2 名をインターンとして受け入れました。

◆ 短期国内研修生 ◆

中川 結理さん

(エッセイコンテスト最優秀賞受賞者)



PHD 協会主催の国際協力エッセイコンテスト 2015 年の最優秀賞受賞者。
短期国国内研修生として、2016 年 3 月のインドネシア比較研修旅行に同行しました。

◆ ボランティアとの協働 ◆

PHD の活動に、一年を通してのべ 430 名を超える方々がボランティアとして関わって下さいました。ソディ(タイの手織り布製品を作り手を応援するボランティアグループ)では新商品開発を行い、2 名のメンバーがタイ出張に同行し織り手との交流と布製品の仕入れを行いました。

ボランティア参加者数	
事務作業補助・収集物整理等	266
日本語復習	98
会報発送作業	49
翻訳	8
ソディ例会	5
通訳	6
合計	432



日本語授業の復習をサポートをするボランティア

◆ 他団体との協働 ◆

他の国際協力・交流団体等との共催行事の実施、運営参加を通して、協働および情報交換を行いました。また、イベント等にも参加し、PHD の活動を幅広く紹介しました。

＜共催・参加イベントなど＞
アーユス合宿、生活協同組合総合研究所報告会、ネパール緊急救援街頭募金、国際協力連続セミナー in JICA 関西、和歌山国際交流センター「ネパールチャリティイベント」、コープこうべ (生活文化センター) ネパール救援募金活動、神戸 NGO 協議会、関西学院大学サービスラーニング、CODE ネパール地震被災地支援活動派遣スタッフ報告会、シルバーカレッジミャンマー班、コープこうべネパール地震緊急報告会、JICA 北陸、スタディツアー合同説明会、NGO / JICA 推進員会議、櫛戸健次郎ドクター ネパール救援活動報告会、関西 NGO 協議会 ブランディング研修フォローアップ、全国 NGO 相談員会議、国際協力入門セミナー、生活協同組合コープこうべ 平和のつどい、関西 NGO 助成プログラム、被災地 NGO 協働センター 新代表お披露目会、ミャンマー水害救援募金活動、第 12 回多文化共生のための国際理解教育開発教育セミナー、インターアクトクラブ奈良、JICA - NGO 協議会、関西 3 団体 NGO 相談員会議、コープこうべ第三地区ボランティア交流会 説明会、グローバルフェスタ、神戸市シルバーカレッジ学園祭、アーユス関西定例会 ネパール活動報告、ネパール大地震チャリティイベント櫻誓願寺打物奉納記念雅楽演奏会、虹の家報告会、NGO 相談員エッセイコンテスト審査会、米山日本文化セミナー、マイチケットスタディツアー合同説明会、ウータン報告会、JOCA・NGO の評価力 グループディスカッション、NGO 相談員近畿・北陸ブロック会議、NGO 相談員全国会議、NGO 研究会、ワンワールドフェスティバル for ユース、アジア総合研究所アジア生協協力基金 プレゼンテーション、関西ネパールフェスティバル、ワンワールドフェスティバル、かんさい CS ネットワークフォーラム、コープこうべ主催「ネパール緊急募金寄贈団体の活動報告会」、加東市連合婦人会報告会、NGO-JICA 会議

＜運営＞
神戸 NGO 協議会、関西 NGO 協議会 (理事)、コープともしび振興財団 (理事)、神戸市地球環境市民会議 (委員)、兵庫県ユニセフ協会 (評議員)、JICA 関西開発教育支援実行会議、NGO / JICA 定期協議会
＜敬称略＞



NGO 相談員全国会議

◆ 啓発事業促進物の製作・販売 ◆

タイ・カレンの手織り布製品とネパールの手編み毛糸製品等を、研修旅行先での交流会と県内のバザー等で販売しました。



ワンワールドフェスティバル for Youth

<委託・出店先>

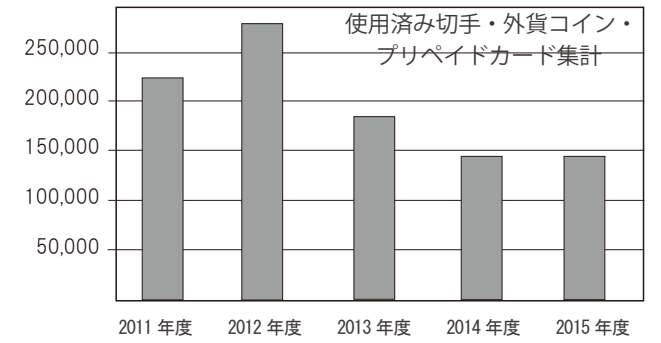
山梨県／福島幸子（委託）
大阪府／ワンワールドフェスティバル for ユース、ワンワールドフェスティバル
兵庫県／神戸市シルバーカレッジ ジョイラックデー、第12回多文化共生のための国際理解教育開発教育セミナー、神戸市シルバーカレッジ 学園祭、コープボランティア交流会、関西ネパールフェスティバル、コープファミリーフェスタ、コープ活動サポートセンター宝塚 ふれあいフェスタ、ユニセフのつどい、祭 in すみよし、ロータリー 2680 地区大会、国際ソロプチミスト姫路西 チャリティバザー、国際ソロプチミスト神戸 チャリティバザー、淡路市国際交流協会（委託）
鹿児島県／かごしま有機生産組合「地球畑」（委託）

<敬称略>

◆ 書き損じハガキ等の収集 ◆

2015 年度もご協力いただいた収集物の換金・相当額は 50 万円を上回りました。ハガキは切手に交換し、未使用切手と同様に PHD からの各種発送費に、未使用テレホンカードは電話代に充てさせていただいています。

収集物の相当額・換金額集計	
書き損じ及び未使用ハガキ	227,402 円
未使用切手	164,261 円
外貨コイン・使用済み切手	64,150 円
未使用テレホンカード	81,250 円
合計	537,063 円



◆ 国際協力エッセイコンテスト 2015 ◆

国際協力の担い手育成」と「NGO 相談員事業の広報」という二つの目的を掲げ実施しました。各大学に広報を実施した結果、141 作品の応募がありました。11 月には有識者による審査会を実施し、下記 5 作品を選定。またワンワールドフェスティバル for youth にて「JICA × NGO コラボ企画エッセイコンテスト受賞作発表&国際効力を仕事にしよう！」を実施し、各受賞者が報告を行いました。3 月には最優秀賞受賞者の中村さんにインドネシアスタディーツアーに参加してもらい、国際協力の現場を体験してもらいました。



最優秀賞

立命館大学 中川 結理さん

優秀賞

南山大学短期大学部 大谷 悠花さん

松山大学 西上 結菜さん

桃山学院大学 佐々木 千華さん

奨励賞

関西学院大学 中村 文乃さん



国際協力エッセイコンテスト受賞者と記念撮影

◆ 会員数 ◆

今年度は、会費未納会員の数、連絡の取れていない会員の動静を調査し、継続して PHD 活動にご協力いただいている会員の実数を把握いたしました。結果、終身維持会員、友の会会員を含めて 890 人という会員数となりました。今後は、継続したご支援、新たな方からのご支援を得る活動を、PHD の実体にそくして展開してまいります。

	新規会員数 (目標)	新規会員数 (実績)	2015 年度末現在の 会員数
終身維持会員	3	6	185
PHD 会員	20	9	523
友の会会員	10	12	182
合 計	33	27	890

助成及び賞歴

◆ 助成金事業 ◆

平成 27 年度「NGO 補助金事業」

NGO の事業実施能力や専門性の向上のため、NGO の事業促進に資する活動を支援する「国際開発協力関係民間公益団体補助金（NGO 補助金）」を外務省国際協力局民間援助連携室から頂き、研修事業を行いました。

平成 27 年度「NGO 相談員」

国際協力分野で経験と実績をもつ日本の NGO が外務省の委嘱で「NGO 相談員」となり、NGO の国際協力活動、NGO の設立、組織の管理・運営など、市民や NGO 関係者からの質問・照会に答える事業を受託しました。国際協力への理解促進のため、地方自治体や教育機関などと協力し、国際協力関係のイベント等において相談業務や講演を行う「出張サービス」を 25 回実施しました。

「愛のカンパ 中央助成」日本労働組合総連合会（連合）

人道主義の立場から「自由、平等、公正で平和な世界の実現」に向け、NGO などの事業の支援を目的としており、研修事業へのご支援をいただきました。

「国際協力！次の一歩プログラム」国際協力機構（JICA）

「関西地域 NGO 助成プログラム」真如苑・関西 NGO 協議会

◆ 受賞歴 ◆

1981	岩村先生、第 1 回ロータリー国際理解と平和賞受賞
1982	神戸新聞平和賞 兵庫県社会賞
1988	国際交流基金、地域交流振興賞
1990	神戸国際交流賞
1991	毎日国際交流賞
1993	岩村先生、マグサイサイ賞受賞
1995	第 4 回環境水俣賞受賞
1996	外務大臣賞受賞
1997	今井理事長、兵庫県功労者表彰
2001	神戸新聞社社会賞
2011	井植文化賞
2013	かめのり賞
2014	神戸キワニスクラブ社会貢献賞

2015 年度決算

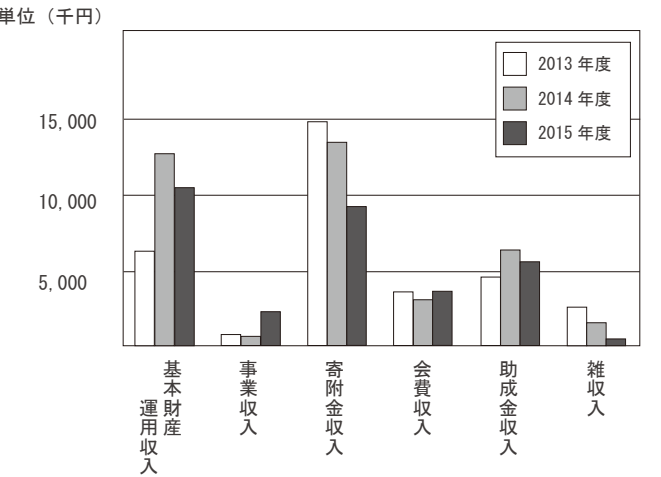
◆ 貸借対照表 ◆

2016 年 3 月 31 日現在（単位：円）			
資産の部		負債・正味財産の部	
科目	金額	科目	金額
流動資産	2,929,493	流動負債	1,154,778
固定資産	319,172,134	固定負債	1,207,485
（うち基本財産として 275,000,000）		正味財産	319,739,364
322,101,627		322,101,627	

◆ 正味財産増減計算報告書 ◆

自 2015 年 4 月 1 日 ・ 至 2016 年 3 月 31 日（単位：円）			
経常収益		経常費用	
科目	決算額	科目	決算額
基本財産運用収入	10,338,977	研修事業費	26,942,626
特定資産運用収入	414,959	啓発事業費	21,968,605
事業収入	2,556,840	管理費	3,987,370
寄附収入	9,216,902		
会費収入	3,728,000		
助成金収入	5,688,115		
受取利息・配当金	7,725		
災害救援寄付金収入	14,262,035		
雑収入	437,533		
経常収益計	46,651,086	経常費用計	52,898,601

◆ 過去 3 年間収入比較 ◆



役員（2016.3.31 現在）

■ 理事会

理事長	水野 雄二	(公財) 神戸 YMCA 顧問
理事	太田 貞夫	(株) 神戸新聞社 地域総研所長兼 論説委員
理事	米谷 収	ライスヴァレー A.C. 代表
理事	岡田 徹	兵庫県産業労働部 観光・国際局長
理事	橋本 一豊	(株) 神戸マツダ 代表取締役会長
理事	松田 高明	神戸市市長室 国際交流推進部長
理事	安平 和彦	はりま法律事務所 弁護士
理事	滝澤 功治	神戸海都法律事務所 弁護士
理事	中村 尚義	(株) 淡路第一商事 代表取締役
監事	田畠 耕一	田畠耕一事務所 司法書士
監事	山添 令子	生活協同組合コープこうべ 常勤理事

■ 評議員会

寒者 恵	元三木市職員 保健師
渋谷 富喜男	兵庫県有機農業研究会 元会長
杉原 一三	篠山ナマステ会 幹事
向井 菊美	国際ロータリー第 2680 地区

前田 靖文	国際ロータリー第 2680 地区
納堂 邦弘	内子町地域おこし協力隊員
寺内 真子	神戸 YMCA 総幹事
井上 真二	神戸 YMCA 総主事

■ 運営協力委員

西岡 強	兵庫県町村会 事務局長
本永 正治	(一社) 兵庫県医師会 事務局長
大森 裕之	(一社) 兵庫県歯科医師会 事業課課長
堅田 博行	(一社) 兵庫県薬剤師会 事務局長
構 忠宏	(社福) 兵庫県社会福祉協議会 常務理事・事務局長
小林 武	(公財) 兵庫県老人クラブ連合会 専務理事兼事務局長
八木 素子	(一社) ガールスカウト日本連盟兵庫県支部
政井 小夜子	兵庫県連合婦人会 事務局長
清水 勲夫	兵庫県青少年団体連絡協議会 副会長
草野 誠一郎	神戸商工会議所 産業復興部長
山下 晃	(一社) 神戸銀行協会 常務理事
大西 巧	(一社) 兵庫県信用金庫協会 常務理事
伊勢田 佳博	(一社) 兵庫県信用組合協会 会計理事
石田 恭一	(一社) 兵庫県建設業協会 専務理事
上原 利信	兵庫県森林組合連合会 専務理事
山口 徹夫	兵庫県漁業協同組合連合会 専務理事
柴田 剛介	(公社) 日本青年会議所近畿地区 会長
矢形 幸之助	神戸キワニスクラブ 福祉広報委員長
伴 忠道	青年海外協力隊兵庫県 OB 会
原 孝	兵庫県連合自治会 事務局長
大家 重明	兵庫県青年洋上大学同窓会 会長
長嶋 淳平	兵庫県小学校長会 会長
川島 隆司	兵庫県中学校長会 会長
水田 時男	兵庫県立高等学校長協会 会長
坂上 修	(一社) 兵庫県私学総連合会 事務局長
西海 恵都子	(株) 神戸新聞社 編集局報道部長
中馬 美恵子	国際ソロプチミスト神戸 会長
神吉 道子	高砂に PHD 研修生を迎える会

事務局・スタッフ（2016.3.31 現在）

■ 事務局

	
主任主事 / 事務局長 坂西 卓郎	主事補 / 総務・財務担当 井上 理子
	
主事補 / 研修担当 今里 拓哉	主事補 / 啓発担当 芳田 弓生希
2016 年度 新職員	
総務・財務担当	上石 景子
広報・啓発担当	八木 純二

嘱託職員
古寺 瑞代

嘱託職員
仲西 美樹

嘱託職員
田尻 亜紀

事務局ボランティア
矢萩 雅一郎

事務局インターン
ジェニィ・マパ

■ 現地スタッフ ミャンマー

ススーティン
2006 年度第 24 期生

モーママ
2013 年度第 31 期生

スーパーバイザー
トウトウン
1994 年度第 12 期生

ネパール

ランマヤ・タマン
2012 年度第 30 期生

ムク・マヤ・タマン
2014 年度第 32 期生

インドネシア

ダスウィル
1999 年度第 17 期生

アフダール
2000 年度第 18 期生

マスラル・アリゾン
2005 年度第 23 期生

アルウィ・フィドリ
2001 年度第 19 期生

ダリスマン
2013 年度第 31 期生

アフリタ
2004 年度第 22 期生

2015 年度 会費納入者名簿（2015.4.1 から 2016.3.31 まで）

個人情報保護のため氏名は掲載しておりません。
ご了承ください。

PHD へのご寄附及び会費は、税額控除もしくは所得控除の適応を受けることができます。

＜例えば 20,000 円の寄附をして、確定申告をすると＞

＜例えば 20,000 円の寄附をして、確定申告をすると＞

◆税額控除の場合

(20,000円－2,000円)×40%＝7,200円^{*1}が還付されます。

*1 所得税額の25%に相当する金額を限度とします。

◆所得控除の場合

20,000 円^{*2} - 2000 円 = 18,000 円が所得金額から引かれます。

*² 所得金額の40%を限度とします。

(詳しくは国税庁のホームページをご覧ください)

PHD 会員制度のご案内

PHD 運動は会員の皆様によって支えられ、
すすめられています。
継続したご支援をよろしくお願いいたします。

継続したご支援をよろしくお願いいたします。

PHD 終身維持会員	1 口	10 万円（任意の口数）
PHD 会員	年額 1 口	5 千円（任意の口数）
PHD 友の会会員	年額	千円以上（任意の額）

会員の皆さまには、会報「PHD LETTER」、
年度事業報告、行事のご案内をお届けします。

◆ゆうちょ銀行

口座番号：01110-6-29688

口 座 名：公益財団法人 PHD 協会

◆三井住友銀行

神戸営業部 (500)

口 座：普通 3210568

口 座 名：公益財団法人 PHD 協会

お振込み先



公益財団法人 PHD 協会

〒650-0003 神戸市中央区山本通 4-2-12 山手タワーズ 601
TEL 078-414-7750 FAX 078-414-7611